

FREE

ご自由にお持ちください。

No.829
2022 October

10

岐阜県の森林・林業

も り
森林のたより



News of the forest



白山白川郷ホワイトロードの紅葉をお楽しみください



●詳細は5ページをご覧ください



編集・発行 公益社団法人 岐阜県山林協会

E-mail sanrinag@quartz.ocn.ne.jp

<http://www.g-forestry.or.jp> (公社)岐阜県山林協会の情報をご覧ください。

開催日	行事名等	内容等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	場所 申込(問合せ)先/TEL
9月1日(木)~ 10月31日(月)	緑の募金(秋期)	「緑の募金で進めようSDGs」をスローガンに秋の緑の募金を行います。	公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 058-273-7577
10月2日(日)、9日(日)、 21日(金)、30日(日)	スプーンクラブ	一般の人々に木工に親しんでもらう機会を作るため、月に3~4回程度、伐ったばかりの生木を斧やナイフで削る「グリーンウッドワーク」の手法でスプーンを作る「スプーンクラブ」を実施する。	ぎふ木遊館 058-215-1515
10月22日(土)	プラネタリウムと 天体観望会の夜	●対象: 県内在住親子(小学生以上) ●定員: 30名 ●受講料: 無料 ※詳細は森林総合教育センター(morinos)のHPをご覧ください。	岐阜県立森林文化アカデミー 森の情報センター(美濃市) 森林総合教育センター(morinos) / 0575-35-3883
①10月29日(土)~ 30日(日) ②11月5日(土) 計3日間	キャンプインストラクター 養成講座 ~実践と講義から学ぶ 自然への対応~	●定員: 10名 ●受講料: 20,000円(学生17,000円) ●申込期限: 10月15日	岐阜県立森林文化アカデミー 森林総合教育センター(morinos) (美濃市) 岐阜県キャンプ協会 / 090-2774-2526
11月11日(金)	樹上作業のためのツリー エアリアルレスキュー& セーフティ「TARS-1」 ~全な樹上作業のための レスキュー技術~	●定員: 8名 ●受講料: 32,000円 ●申込期限: 開催日の10日前	岐阜県立森林文化アカデミー 森のコテージ周辺森林(美濃市) きのぼり屋 / 0587-74-0454
11月12日(土)	狩猟免許試験 (わな猟)	狩猟免許取得のための試験を実施します。 ●時間: 9:30~17:00 ●申込: 10/7~10/21 ※事前に申請書類等の提出が必要です。詳しくは右記にお問い合わせください。	飛騨総合庁舎 各地域を所管する県事務所等、 または環境生活政策課 (058-272-1111 内線 2701)
11月12日(土)	樹上作業のためのスパイククラ イミング「BAT-3B」 ~安全な樹上作業のために~	●定員: 6名 ●受講料: 44,500円 ●申込期限: 開催日の10日前	岐阜県立森林文化アカデミー 森のコテージ周辺森林(美濃市) きのぼり屋 / 0587-74-0454
11月12日(土)~ 11月13日(日)	オープンキャンパスin翔風祭 (森林文化アカデミー学園祭)	入学を検討している人を対象にオープンキャンパスを実施。 ●事前申込必要 ●詳しくは、 https://www.forest.ac.jp をご覧ください。	森林文化アカデミー 0575-35-2525
11月13日(日)	森の恵みで染色・脱色	●対象: 小学4年生以上(親子参加なら小学1年生以上) ●定員: 10名 ●受講料: 1,500円 ●申込期限: 11月4日(金) ※詳細は森林総合教育センター(morinos)のHPをご覧ください。	岐阜県立森林文化アカデミー 森の工房(美濃市) 森林総合教育センター(morinos) / 0575-35-3883
①11月23日(水・祝) ②12月17日(土) 計2回	摩擦発火と焚き火マンダラ講座 ~素材選択から季節変動まで~	●定員: 10組 ●受講料: 15,000円(1組) ●申込期限: 開催日の10日前	岐阜県立森林文化アカデミー 森の工房(美濃市) 森林総合教育センター(morinos) / 0575-35-3883
11月26日(土)	ワイズマンから学ぶ庭木剪定 初級講座 ~枝の見方、ハサミの選び方~	●定員: 10名 ●受講料: 1,000円 ●申込期限: 11月11日	岐阜県立森林文化アカデミー 森の情報センター(美濃市) 森林総合教育センター(morinos) / 0575-35-3883
12月7日(水)	狩猟免許試験 (第一種銃猟、第二種銃猟)	狩猟免許取得のための試験を実施します。 ●時間: 9:30~17:00 ●申込: 11/2~11/16 ※事前に申請書類等の提出が必要です。詳しくは右記にお問い合わせください。	恵那総合庁舎 各地域を所管する県事務所等、 または環境生活政策課 (058-272-1111 内線 2701)



目次 Contents

イベントカレンダー(一般向け) 2

森林環境譲与税のお悩み相談は、
地域森林管理支援センターへ! 3

未来の森林技術者確保に向けた取り組み
「森林サービス産業普及促進セミナー」を開催 4

白山白川郷ホワイトロードの紅葉 5

山の歳時記 206 クスサン 6

山のおじゃまむし 375 ー石川県にはいないのか、クマゼミー 7

ぎふ木遊館通信 8

morinos自由利用団体紹介!! 9

シリーズ「森林・環境税」で緑豊かな清流の国ぎふづくり(6) 10

木の香るさふの施設(115) 中濃森林組合事務所 11

森林と人を活かす知恵(117) 12

社会に必要な新しい《学びの場》とは? 12

研究コーナー ツリーシェルターはいつ外せばよいのか? 13

普及コーナー 中濃地域のスマート林業への取り組みについて 14

スマート林業通信(28) 15

ドローン測量をマスターする研修会 15

国有林の現場から(72) 16

中部の森林林業従事者写真コンテスト 16

林業者向けお知らせ 17

市況 18



表紙●詳細は5ページをご覧ください。

森林環境譲与税のお悩み相談は、 地域森林管理支援センターへ!

地域森林管理支援センター長 荻巣 雅俊

「そんな～。法律が施行されたからといって、いきなりできないよ～」 ごもったもな意見です。平成31年4月に森林経営管理法が施行され、同年に森林環境譲与税の県や市町村への譲与が開始されました。この譲与された財源は、市町村においては、これまで手入れ不足であった人工林の整備、人材の育成・確保、木材利用等、地域の実情に応じた取り組みに活用できます。冒頭のつぶやきは、担当になった市町村職員さんの心の嘆きを察したものです。県と違い市町村の林務担当の皆さんは、林業の専門家が多くありません。定期異動で初めて配属された方も少なくありません。しかし、限られた人数で、従来の業務と併せてこれら取り組みをスムーズに進めることは簡単ではありません。本当に。困った。困った。

そんな「森林経営管理制度」や「森林環境譲与税」に関する「お困りごと」の相談窓口が「地域森林管理支援センター」(以下、センターと呼ぶ)です。

センターには、二つの重要な狙いがあります。一つ目は、地域の実情にあった取り組みを市町村の担当者等と進めていくこと。二つ目は、異動の多い市町村担当者との情報の共有を濃密に行っていくことです。これらを進めるために、岐阜県地域森林監理士、森林総合監理士、技術士、測量士等の資格を有した専門のスタッフを常駐させています。

地域の実情に沿った取り組み支援

センターでは、地域の実情にあった取り組みを進めるため、現在まで(8月末)に70回を超える、相談や巡回支援を行っています。市町村の担当者等との打ち合わせの過程で、具体的な事業の立案や進め方を検討し、業務支援役となる地域森林監理士や林業普及指導員、連携先となる林業事業体、森林組合等の紹介も行います。主な例としては、デジタル技術を駆使した樹種の区分や所有界の明確化、契約期間終了が迫ってきた分収林の取り扱い、観光地に点在する危険木の除去等の地域ならではの相談等があり、それぞれ分野で専門的知識を有する地域森林監理士等の派遣も行っているところです。



市町村巡回支援の様子

レベルに対応した研修の実施

センターでは、市町村の担当者等が業務を進めるうえで必要な知識・技術を習得し、関係者間で濃密な情報共有を図るため、研修会を実施しています。研修は、初級者向けの基礎研修(8回)、取り組みレベルに対応した実践型研修(13回)の、2コースに分かれており、必要に応じて選択的に受講できる仕組みとなっています。現在までに、基礎研修6回、実践型研修4回を実施し、延べ164人に参加いただきました。



市町村担当者研修の様子

第三者による評価委員会の設置

センターでは、これらの取り組みを客観的に評価いただき、改善を図るため、第三者による評価委員会を設置しています。第1回は、5月31日に開催しました。委員会では、今年度の具体的な取り組み計画やスケジュールについて議論が交わされました。委員からは研修をリモートで実施できる工夫や林業普及指導員の積極的な活用等について意見がありました。頂いた意見は、取り組みに反映できるよう検討を進めていきます。

意向調査の目標は、4,000ha

報道でご存じのとおり、全国的に森林環境譲与税の実効性が、大きな話題となっています。このままの状態が続けば、森林環境譲与税そのものの存続も危ぶまれます。国では、令和4年度の取り組み実績が存続に向けての判断材料になるだろうと予想する向きもあります。センターでは、今年度、森林整備に向けて意向調査4,000haという大きな目標を達成するため、市町村の支援を行っています。今後も、小島副センター長を中心に、県や市町村と緊密な連携を図りながら、スタッフ一同、目標達成に向け努力してまいりますので、関係者の皆さんの一層のご理解とご協力をお願いいたします。

森林経営管理制度や
森林環境譲与税に関する
お悩み相談は?

「地域森林管理支援センター」まで

TEL:058-201-5013 FAX:058-275-4398 E-mail: f-shien@g-moriren.or.jp
500-8356 岐阜市六条江東2丁目5番6号 岐阜県森林組合連合会内



未来の森林技術者確保に 向けた取り組み



県内における年間30日以上林業に従事する森林技術者数は、平成27年に千人を下回って以降、ここ数年は940人前後で推移しています。今後も持続可能な森林の管理を進めていくためには、さらなる森林技術者の確保が必要です。

そこで、県では森林技術者確保のため、関係機関等と連携し、未来を担う若者に林業を「学ぶ」・「体験する」機会を創出する取り組みを行っています。

林業を学ぶ

県農林事務所と森のジョブステーションが連携し、県内の農林関係高校の生徒を対象とした「森のしごとキャンパスプロモーション事業」を行っています。

この事業では、高校が所在する地域の森林・林業の紹介や林業事業体の方を講師としてお招きし、林業現場の「生の声」を生徒の皆さんに届けています。

6月27日に加茂農林高校で開催した際には、可茂森林組合、(株)丸光イトウからそれぞれ講師としてお越しいただき、自身の経験に基づく講話をしていただきました。



講師の方からの講話

「自分の技術向上が着実に実感できる」といった林業のやりがいを感じる瞬間や、「作業中に伐倒木に接触しそうなになった経験から、安全にはいつも注意を払うようになった」といった林業の厳しい面についても伝えていた

きました。

生徒の皆さんからは、「就職して1年目はどんな仕事をするのか」、「重機の操作はどれくらいで覚えられるのか」など実務的な質問も多く、意欲の高さを感じました。

今年度は、既に4校で実施し、12月に飛騨高山高校で実施する予定です。

林業を体験する

林業を体験してもらう取り組みとして、関係機関と連携し、前述の事業と同様に県内の農林関係高校の生徒を対象とした「山しごとインターンシップ事業」を行っています。

この事業では、県内の林業事業体にご協力いただき、生徒が実際に「山しごと」を見て、体験します。

7月26日〜28日にかけて、岐阜農林高校の生徒3名が、受入先として協力いただいた(有)根尾開発の現場に入り、林業を体験しました。

最終日に行われたチェーンソー体験では、チェーンソーの基本操作から受口、追口の作り方など必要な知識を学び、最後に集大成として立木の伐倒を行いました。かかり木にならぬよう慎

重に刃を進め、概ね狙い通りの方向に倒すことができました。



伐倒体験をする様子と伐倒木の切り株

参加した生徒からは、「今回の経験を良い思い出だけではなく、自身の成長につなげていきたい」など前向きな感想が多く、有意義な取り組みとなりました。

今年度は、既に3校で実施し、10月に恵那農業高校、11月に郡上高校で実施する予定です。

最後に

県では、上記のような森林技術者の確保のほか、育成・定着対策にも引き続き積極的に取り組んでいきます。

「森林サービス産業普及促進セミナー」を開催

皆様は「森林サービス産業」という言葉をご存知でしょうか。

健康、観光、教育等の多様な分野が、森林資源のひとつである森林空間と繋がることにより創出される、「森林空間利用に係る新たなサービス産業」のことで、平成30年度に林野庁から提唱されました。山村地域に雇用と収入機会を生み出すことで、山村振興・地方創生に寄与することが期待されています。

県では、この「森林サービス産業」に興味・関心を持ってもらうために、普及促進セミナーを開催します。

- 日時** 令和4年11月15日(火) 15:30~17:30
- 会場** 県立森林文化アカデミー 森の情報センター(岐阜県美濃市曾代88)
- 主催** 岐阜県 **定員** 70名(先着順)
- 申込方法** 「お名前」「団体名」「住所」「電話番号」「メールアドレス」をメールまたはFAXにて下記までご連絡ください。
【申込先】 岐阜県 森林活用推進課 担当:藤代 メール c11513@pref.gifu.lg.jp FAX 058-278-2702
- 内容(予定)**
- 基調講演 木俣 知大 氏(株さとゆめ 長野支社)
 - 事例発表 山田 俊行 氏(トヨタ白川郷自然学校 学校長)
 - パネルディスカッション「森林空間の新たな活用「森林サービス産業」の創出と地域振興」
ファシリテーター 涌井 史郎 氏(岐阜県立森林文化アカデミー 学長)
パネリスト 木俣 知大 氏
山田 俊行 氏
洞口 健児 氏(有アウトドアコーディネイツ 代表取締役)
 - 交流会(名刺交換・意見交換)
- ※詳細については岐阜県HPに掲載いたします。



お問い合わせ先 森林活用推進課 森林サービス産業支援係
TEL:058-272-8821 FAX:058-278-2702 E-Mail:c11513@pref.gifu.lg.jp

白山白川郷ホワイトロードの紅葉

白山白川郷ホワイトロードは、9月下旬より紅葉が始まっており、標高差が大きいので、11月上旬までの長い期間にわたって紅葉を楽しむことができます。展望台や車窓から眺める赤や黄色の紅葉は、針葉樹の緑に映えてとても鮮やかに彩られます。今年度は「白川郷展望台駐車場」に白山白川郷ホワイトロード唯一の売店、「蓮如茶屋」がリニューアルオープンしました。軽食とコーヒーをお楽しみいただけます。

また、8月の豪雨により石川県側に災害が発生したため現在は岐阜県側からの折り返し通行のみとなっております。災害による通行止め状況及び紅葉情報はホームページにて随時更新していますので、お出かけの際はご確認ください。

通行料金 ※岐阜県側からの折り返し通行のみ

	利用料金
軽自動車	1,400円
普通自動車	1,700円
マイクロバス	5,000円
大型バス	11,000円



営業期間 11月10日(木)まで(予定)

利用時間 8時~17時(出口閉門時間 18時)
ただし、9月23日(金)から10月23日(日)までは、開門時間を1時間早める「秋のモーニングタイム」実施します。

ホームページ <https://hs-whiteroad.jp/>



紅葉のホワイトロード

お問い合わせ先

(公社)岐阜県森林公社 白山林道岐阜管理事務所
TEL/FAX 05769-6-1664

【森林保全課 水源林保全係】



文：樹木医・日本森林インストラクター協会 理事 川尻 秀樹

「大きな蛾がいるよ」と言われて庭のコギクを見に行くと、クスサン (*Caligula japonica*) が羽化していました。

9月～10月に成虫になるクスサンは、ヤママユガに似ており、翅を開くと約15cmになる大型の蛾です。後翅はふだん前翅に隠れていますが、後翅には大きな蛇の目模様があります。夜の街灯などに誘われて、壁などに張りついて止まっている翅を観察すると、雌はあま

り色彩変異が無いのに対し、雄は色の濃淡など様々な変異が見られます。

羽化して交尾を終えた雌成虫は樹木の幹の割れ目や枝の分岐点などに、150～200個の卵を産卵し、卵は卵塊のまま越冬します。

4月頃に幼虫に孵化し、若令期の幼虫は黒灰色で群れて生活します。ある程度成長すると分散して生活し、初夏の終齢幼虫は長さ約80mmと大型で青白色の胴部全体に長い白毛があります。幼虫の長い毛はドクガやイラガのような有毒作用はありません。

幼虫の食樹対象樹種は幅が広く、クリやクスギ、コナラ、ケヤキ、カエデ、トチノキ、サクラなどの他、普通の昆虫があまり食べないウルシやハゼ、イチヨウ、クスノキなども食樹します。

このクスノキの葉を食害することから漢字で「樟蚕」と書き、和名になったとされますが、実際にはクスノキよりもクリやクスギを

好みます。

また外見や習性から、シラガタロウ(白髪太郎)、クリケムシ(栗毛虫)、飛騨地方ではトチノキの葉にも加害するためトチカンジョと呼ばれました。

7月上旬には楕円形で網目状の繭を作ります。この繭は中の蛹が透けて見えるものの非常に頑丈で、夏の高湿多湿下での換気に優れており、この外見から「透かし俵」とも呼ばれました。

繭糸は釣りのテグスや西洋人形の毛髪に利用されました。昔は釣り糸に天蚕糸(てぐす、てんさんし)を用いましたが、これはカイコガ(*Bombyx mori*) やクス

サンの幼虫腹部の絹糸腺(けんしせん…繭になる糸を作る部分)を使つたため、今でも釣りの世界では釣り糸をテグスと呼ぶのです。

取り出した絹糸腺は濃度10%の酢酸に約10

分浸け、ゆっくり引き延ばすと強度が増し、漁網に用いる場合は柿渋を塗って防菌・撥水強度を増しました。山では生きたクスサンの幼虫の腹を切り裂き、絹糸腺を引き伸ばしたままテグスにしたり、酢に浸けてから使ったりして即興の釣り糸としたのです。

紳士服メーカーの御幸毛織株式会社は、栗の葉を食べて栗色の糸を産出するクスサンの糸を緯糸に使用した「ナポレナ栗繭」という光沢ある洋服を販売されていることを思い出しながら、羽化したクスサンを眺めたのです。



▲コギクにつかまって羽化したクスサン



山のおじゃまむし



ー石川県にはいないのか、クマゼミー【第375回】

自然学総合研究所 野平 照雄 ● Teruo Nohira

一緒に暮らしている孫のY君が中学生になった。これで我が家の生活が大きく変わった。毎年出かけていた家族旅行や海水浴、山登りに出かけるのが難しくなったのである。それはY君の部活と塾通い。これで時間をとられるのである。部活はバスケット部へ入った。父親が地元でバスケをしているので、その影響を受けたのであろう。部活と言っても中学生だ。大したことはないだろうと思っていた私。それが違った。連日練習で、休日に出でいくこともある。試合があれば選手でなくても応援に行かなければならない。しかも試合は夜が多いので、親が送迎しなければならない。母親は選手でないのだから、欠席したらと言う。しかしY君は、試合を見ているうちにいろいろな技術が覚えられるのでいやだという。普段も時間があれば空き地でドリブルの練習。バスケはY君の生きがい。そんなことを思ってしまう。それと塾。これも大変だ。週に土日を含め4～5日。昼はバスケで夜は塾通いだから大変だと思う。塾では厳しい先生のもとでの勉強だ。聞くとところによると多くの生徒は塾通いをしているというから驚いてしまう。しかし、Y君は親に叱られて塾へ向かうこともあるので、バスケとはちがうようだ。

× × × ×

夏休みになった。しかし、家族旅行は無理だと諦めていた。ところがバスケの県大会が高山市になったので、1年生は行かなくてもよいとの連絡。その日は7月30日。たまたまこの日は家族全員予定なし。神様からのプレゼントだと娘夫婦は旅行計画を立てた。行き先は能登半島。前から行きたいと思っていたところらしい。しかし、安い民宿はどこも満員。結局、和倉温泉のホテルに予約した。その日が来た。朝6時に東海北陸自動車道で石川県へ向かった。私は同乗しているだけなので、ほとんどうつらうつら。4時間後石川県の千里浜に着いた。ここは8キロに及ぶ砂浜で、しかも海が青色に輝き、きれいであった。ここを1時間ほど歩いた。途中から孫たちは靴のまま海に入ってびしゃびしゃ。浜辺では海水浴やバーベキューをしている人が多い。この光景を見ながら海岸沿いのドライブコースを北上して巖門へ向かった。ここは海に突き出た岩盤が何か所もある観光地で、この日も多くの人々が来ていた。ここで、遊覧船に乗り近くから岩盤を見て、自然歩道を散策した。遊歩道から眺める海もきれいであった。歩いているとセミの鳴き声が聞こえてきた。アブラゼミ、ニイニイゼミのほか時々ミンミンゼミの甲高い音が耳に入ってきた。セミの声を聞きながら歩いている時、ふと思った。あのけたたましいクマゼミの鳴き声が聞こえてこないのである。

× × × ×

不思議だった。いくら耳を澄ましてもクマゼミの鳴き声は聞こえてこないのである。このことが気になり、行く先々でクマゼミを探した。しかしどこにもいなかった。翌日、和倉温泉から金沢市の兼六園へ向かった。途中、3か所の景勝地へ寄ったがここでも鳴き声はなし。兼六園へ着いた。園内には樹齢数百年の大木。その大きさに圧倒されてしまう。ここでも数種のセミの鳴き声が聞こえてきた。しかし、クマゼミの声は聞こえない。これは石川県にクマゼミが侵入していないのだと思った。岐阜県でクマゼミが鳴きだしたのは30年くらい前。それまでは県南部の暖かい地域に生息していただけ。それが徐々に増え、今では北部の郡上や益田地方まで広く分布している。このことから、石川県は冬は寒いし雪も多く気象が厳しいので、クマゼミは侵入できないのだと思った。今年の旅行は人混みを避け、歩いて散策した。コロナが怖かったからである。歩き始めると孫たちが競って前へ前へと進む。それが速い。ついていくのがやっとだった。そのうちに孫たちが「おじいちゃん、ここで休んでいて」。このやさしい声に心が和んだが、「やはり後期高齢者か」と侘しくなってきた。



▲庭で見つかった抜け殻

× × × ×

孫たちが喜んだのはホテルの娯楽室。いろいろなものがあつたが、どれも無料だ。中でも孫たちが夢中になったのがカラオケ。まず3年生のYAちゃんが歌いだした。驚いた。聞いたことのない曲を踊りながら歌うのである。他の孫たちも同じであった。どれも今はやっている踊りながら歌っているグループの歌だという。代わる代わる歌って楽しんでた。結局、ホテルを出たのは11時であった。帰宅したのは午後9時。楽しい家族旅行であった。翌日、近くの公園ではクマゼミが大合唱。我が家の庭でも2匹が鳴きだした。近くの花木の葉にクマゼミの抜け殻があつた。この植物の根を食べて育つとしか考えられない。クマゼミは増えすぎてこんな狭い庭まで来て卵を産む。可哀そうに思えてきた。でもクマゼミが自然界を生き抜こうとする力はたくましい。そのうちに石川県へも侵入して、けたたましい声で鳴きだすだろうと思った。



ぎふ木遊館通信

ぎふ木遊館は、令和2年のオープンから2年が経過し、これまで延べ6万人ほど(令和4年8月末現在)にご利用いただいています。いつもたくさん子どもたちが、大型木製遊具や木のおもちゃでのびのびと遊んでいます。その様子を見ていると、子どもたちが「ねえねえ見て見て!」と、積み木で作った想像力あふれる作品や、自分がやってみて「楽しい!」と思ったことを教えてください。木育ひろばの入口には、そんな子どもたちの姿を写真に撮らせてもらって掲示しています。

先日、ここに写っているある女の子が、木工室での木育プログラム「木のコースターをつくろう」に参加してくれました。4種類の樹種の違いを五感で感じながら好きな木を選び、焼きペンでオリジナルのコースターをつくることを体験し、「木で作るのが好き。大切に使うよ。」と言ってくれました。「楽しい」「好き」を通じて、自分でつくること、ものを大事にする心が芽生え、木育のステップを着実に歩んでいるなど感じる嬉しい出来事でした。



自分で作ったコースター、大切に使うよ!



ぎふ木遊館の新しい友だち!

来館者全体の約半数は、初めての来館者です。オープン当初からコロナ禍でしたので、大々的な広告などは出していませんが、おかげ様で利用者の SNS や地域情報誌などで取り上げていただき、「子どもが生まれて来たいと思っていて、やっと来れました」「保育園の遠足で来て、お父さんと行きたいと言っていたので」と言った声をいただき、年を重ねるごとに新たな子どもたちとその保護者がここを訪れてくれています。

一方で、オープンから2年間で年間パスポート(平日限定)のご利用者は、1,400名近くなり、頻繁に遊びに来てくれるご家族も多くみられます。当たり前のことですが、2年前に抱っこひもに入ってやってきた赤ちゃんが、ハイハイするようになり、今は元気に走り回って遊んでいます。我々スタッフは、ぎふ木遊館での子どもたちの成長を保護者のみなさんと一緒に見守り、一緒に喜んでいます。

成長すれば、過ごす場所や遊び方もどんどん変わっていきますが、どこでどんな遊びをしても木(自然)に触れられる環境がぎふ木遊館にはあります。初めて来た子も、いつも来てくれる子も、いつ何度来ても楽しんでもらえるよう、今後もハード・ソフト両面で工夫を凝らしながら運営していきたいと思えます。



やがてみんなの森になる

morinos

自由利用団体紹介!!

岐阜県立森林文化アカデミー内にある森林総合教育センター（愛称morinos）を自由利用された団体についてご紹介します！

<浄心こどもの城 自由利用>

morinosは、多くの方々に自由に利用いただいています。今回ご紹介するのは、今年度、5月20日と7月29日の2回、morinosへ「自由利用」として遊びに来ていただいた郡上市白鳥町の認定子ども園「浄心こどもの城」の年長児達です。

「浄心こどもの城」は、昨年の「森林空間を活用した保育・教育に関する連携事業」に応募された園で、一度morinosで遊びを経験されてからはmorinosスタッフの案内がなくても、保育士の先生自身が見守り、子ども達を森へ連れて行くことができます。

2回とも、午前中はしっかりと森林文化アカデミー演習林内で森歩き、午後はmorinosひろばでの遊びでした。

森歩きは、特に2回目は盛夏ということもあり、古城山から流れてくる沢での水遊びがメインでした。みんなサワガニ探しに熱中しました。



【保育園バスのレンタカーでご来場】



【演習林にてウラジオ飛ばし】



【沢遊び】

morinosひろばでは、様々な遊びを体験しましたが、特にmorinos山での散歩、穴掘り、泥池での遊び、中でも泥池へダイブするウォーターライダーは大人気でした。保育士さん達も泥遊びする子ども達としっかり遊ばれ、保育士の鑑と言えるほど泥だらけになって、子ども達と向き合っていました。簡単そうでなかなかできない対応と感じました。

保育士さん達は、昨年のmorinosでの体験を踏まえ、園での保育に、子どもの遊びを通して自主性を伸ばせるよう自由遊びの時間を増やしたり、水遊びや泥んこ遊びを取り入れる等の試行錯誤を繰り返したそうです。

帰り際、泥だらけになった服をスタッフも手伝って水洗いしましたが、何度も洗ってもバケツの水がいつまでも泥色という状態でした。

最後に、子ども達は、用意してきた新しい服に着替え、「もっと遊んでいたい〜」、「帰りたくない」、「すごく楽しかった!」等の言葉を残しバスに乗って帰って行きました。秋にもまた遊びに来てください。



【ウォーターライダー?】



【全身泥まみれ】



【保育士さんも泥まみれ】

morinosは、休館日以外、開館時間の10時から16時までの間、自由に利用いただけます。多くの皆様のお越しをお待ちしております。興味を持ってくださった方は、morinosのホームページ、動画YouTubeをご覧ください。

ホームページ <https://morinos.net>

開所時間 10:00~16:00

YouTube 検索「morinosチャンネル」

定休日 毎週火・水曜日



morinosHP



YouTube
「morinosチャンネル」

『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”

6

県では、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、県民みんなで豊かな自然環境を守る様々な取組みを行っています。こうした取組みの内容について連載で紹介します。

脱炭素社会に貢献する森林づくり事業(令和4年度新規事業)

【事業概要】

気象災害による被害森林や皆伐後の天然更新が見込めない森林のうち、森林所有者等による整備が困難なものについて、森林の持つ多面的機能の維持・向上・回復とともに、二酸化炭素吸収量の増大に貢献するため、早生樹等の植栽を進めます。

森林所有者と事業実施者、市町村が本事業の実施に合意し、三者で協定を締結し実施する場合、県は人工造林に係る費用等を助成します。

【補助対象者】

市町村、森林組合、林業事業者等

【対象森林】

- 環境保全林内で森林経営計画が策定されていない皆伐跡地
- 脱炭素社会に貢献する森林づくりに関する協定を締結している森林 など

【補助金】

定額補助

※参考例：地拵え+植栽(早生樹2,000本/ha)≒約126万円/ha
(※R4単価より)

【事業内容】

- 植栽
適地適木を原則とするが、現地の状況により成長が早く、二酸化炭素の早期吸収が期待できる早生樹等(コウヨウザンほか)を優先
- 地拵え
林内の刈払いと伐採後の枝葉・梢端部等の除去を行い、植栽を実施
- 特殊地拵え
被災森林の伐採等整理を実施(実施後、2年以内に植栽)
- 雪起こし・下刈り(1齢級まで)
- 鳥獣害防止施設等整備
忌避剤散布や幼齢木保護材、防護柵の設置



コウヨウザンの針葉

幼齢木保護材
設置状況コウヨウザン
(植栽後3年)コウヨウザン
[各務原市民公園]

【これからの取組み】

清流の国ぎふ森林・環境基金事業の第3期(令和4年度～令和8年度)において、100ha(20ha/年)を目標に、脱炭素社会に貢献する森林づくりを進めます。

中濃森林組合事務所

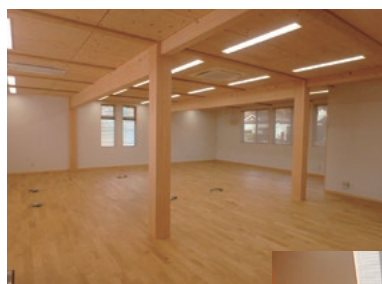
美濃市長瀬427番8



施設全景

施設概要

事業年度	令和3年度
事業主体	中濃森林組合
構造 延床面積	木造平屋建て 238.49㎡
施設用途	中濃森林組合事務所
木材使用量 使用樹種	67.6926㎡(うち県産材 66.7711㎡) スギ、ヒノキ他
全体事業費	63,800千円
助成額	20,281千円(県産材需要拡大施設等整備事業)
設計者	有限会社 河合建築設計事務所
施工業者	株式会社 西村工建
工期	令和3年8月～令和4年2月



事務室

会議室

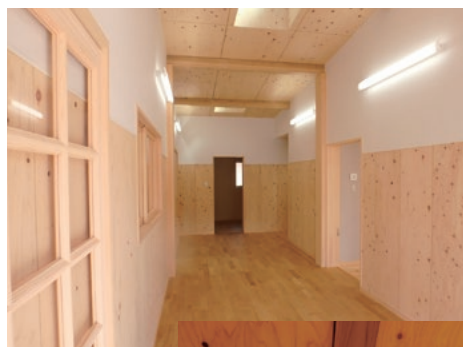


施設の経緯

中濃森林組合は平成16年に関市と美濃市、旧武儀郡の5組合が合併して発足し、組合員数は約4,000人、約42,000haの森林を管理しています。

旧事務所は、美濃市泉町の建物の一部を市から借りて設置していましたが、建物が老朽化し移転が必要になりました。

そこで、森林組合らしく県産材を活用した事務所を建てたいと考え、令和4年2月下旬に美濃市長瀬に移転しました。



玄関ホール

信州型接着
重ね梁

ここに注目!!

県産材使用率約98%の木造平屋建てです。

正面は、スギ材の外壁、事務室は、八寸角のヒノキ柱、ヒノキ合板の天井、クリ材のフローリングと木材がふんだんに使われ、室内に入ると木の香りがします。

また、「信州型接着重ね梁」を活用することで、柱の少ない広い空間を確保しています。

利用者の様子

森林組合の職員や役員、来訪される組合員が木のぬくもりが感じられるなど木の良さを再認識し、柱の少ない空間等を快適に利用されています。

■問い合わせ先
中濃森林組合
TEL 0575-35-3010

社会に必要な新しい《学びの場》とは？

岐阜県立森林文化アカデミー 准教授 ● 小林 謙一



私は14年前、40歳のときに森林文化アカデミーに入学しました。まったく違った分野からのキャリアアチェンジで、不安を抱えてはいましたが、思い切って「学生」となることで「仕事をしながら、次の人生を考えるなければならない」というジレンマからは解放されました。これにより自身の価値観にイノベーション(革新)が起こり、これからは生きていくための「軸」を見つけることができたように思います。

OECD(経済協力開発機構)の幸福度調査で毎年トップ3に入るデンマークでは、社会の変化に対応した失業者向けの手厚い教育プログラムがあり、最大3年以上の「リカレント(学び直し)」ができるしくみがあるそうです。経済的な支援があるということは安心して次のステップにすすむことができる、じつにうらやましいしくみだと感じます。

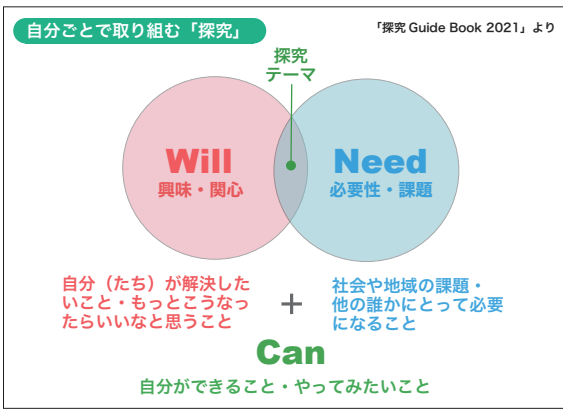
このデンマークで、多くのイノベータを輩出するビジネススクール「KAOSPILLOT(カオスパイロット)」を受講した方にお話を伺ってみると、プロジェクト型学習(PTL)を軸とし、クリエイティブな発想を生むため、学生のキャリアや国籍など《学びの場の多様性》も重要視していたといえます。

●新しい学びの場の実現に向けて

森林文化アカデミー(開学20年)では、18歳から60代まで、多世代、多様な人びとが共に学び合っています。《新しい学びの場》のかたちを、先駆けて実践しているのではないのでしょうか。

アカデミーでは今、次の20年を見据え、若手教員が中心となって熱い議論がなされています。教える・教わる「から」多様な人びとが共に学び合う——持続可能な社会を「森林文化」から実現する共創の場は、さなる進化が求められていきそうです。

グローバル化やテクノロジーの進化が急速に進む現代社会は《将来の変化を予測することが困難な時代》であるといわれています。ニューヨークタイムズ紙に掲載された「子どもたちの65%は、今はまだない仕事に就くかもしれない」(2011年8月)という記事は日本でも話題になりました。現代の小中学生がなりたいたい職業上位にあげる「ユーチューバー」も、今から15年前には無かった職業です。



自分ごとで課題に取り組む「マイプロジェクト」(※)

高度情報化が進んだ昨今では、「学び方」も変化しています。教科書に載っている情報は「Google」ですぐに検索でき、「デジタルネイティブ」と呼ばれる現代っ子の一部は、試験対策も「YouTube」するのだそうです。目まぐるしく変化し、予測することが困難であるため、自ら課題を発見・解決していくといった、正解がない問いに立ち向かうことができる「21世紀型スキル」も必要とされています。こうしたスキルを身につけていくためには、従来の《教科書から学ぶ》だけでなく、自分で考え・やってみる「プロジェクト型学習(PTL)」が有効だといわれています。

●高校での新しい学び

全国の高校では、今年度から「総合的な探究の時間」が本格的にスタートしました。《厳しい挑戦の時代》のために《複雑な状況変化の中で目的を再構築することができるようになる》という言葉から学習指導要領は始まっています。

自分の興味関心(Will)を、社会の課題(Need)につなぎ、できること・チャレンジしてみたいこと(Can)を、自身の課題(マイプロジェクト)として実践していきます。生徒が主体的に学ぶため、グループディス

カッションやグループワークなどを通して考え・学習する「アクティブラーニング」を中心としており、生徒が学校の外に出て、多くの人と共にプロジェクトを進めることも推奨されています。「マイプロジェクト」の全国大会も開催されており、昨年度の「全国高校生マイプロジェクトアワード」には約1万7千人の高校生が参加しました。SDGsなどの社会課題や、新しい仕事づくりや創業など、若者たちが《自分ごと》として取り組み、よりよい自分と社会の再構築に挑戦していく…そんな近未来を想像するとワクワクしますね。

●社会人にも必要な「学び直し」

このように若者は変わっていきます。大人はどうでしょうか？ これまでの「学校を卒業し、就職し、定年まで働いて悠々自適な生活をおくる」という「3ステージのモデル」はほぼ崩壊しました。変化する社会に加え「人生100年時代」に対応していくため、国は新たに、さまざまなステージを並行、移行しながら生涯現役であり続けるというモデル「マルチステージ」の人生を提唱しています。そのような時代には、若者たちと同様に誰もが《学び直し》ができるしくみが必要となってくると思います。

<図表注釈> ※「探究Guide Book2021」(全国高校生マイプロジェクト事務局)を参考に筆者作成

ツリーシェルターは

いつ外せばいいのか？

岐阜県森林研究所 ● 大橋 章博

はじめに

岐阜県下ではニホンジカの個体数が増加しており、スギ、ヒノキの植栽時にツリーシェルター（以下、シェルター）を利用するケースが増えています。シェルターに関する問い合わせが多いのは、「いつ、シェルターを外せばいいのか?」といったものです。

そこで、今回はシェルターを取り外すタイミングについて考えてみます。ここでは紙面の都合もあり、現場で使用する例の多いハイトシェルターEX（以下、ハイト）の場合に限定して紹介します。

シェルターを取り外せる条件

シェルターを取り外すことができる条件は、1. 植栽木の主軸がシカの食害を受けない高さまで十分に生育していること、2. シェルターの支柱を外しても倒れない程度に生育していること、の2点です。

シカの食害を受けない高さは、一般的に1.5m程度ですが、斜面山側から食害する場合を考慮し、樹高が2m以上になっていれば食害を受けないと仮定

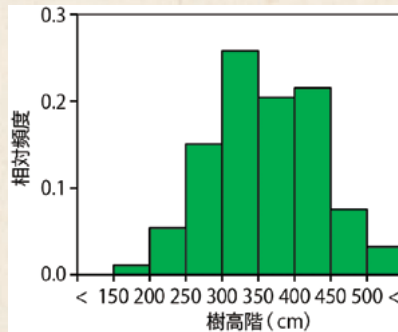


図1 樹高の頻度分布

します。図1は郡上市内に設定したスギ植栽試験地で、植栽6年後における樹高の頻度を示したものです。ほぼすべての植栽木が2mに達しており、1番目の条件は6年目には満たしています。

2番目の条件について検討するため、根元直径と形状比との関係を図2に示しました。形状比とは、樹高を胸高直径で割った数値で、この値が小さければずんぐり型、大きければ細長い樹形のように、樹木の形態の指標となるものです。一般に70以下になると雪害や強風で折れにくいとされています。この試験地では、根元直径は2.2~12.2cmと成長差が見られ、根元直径が小

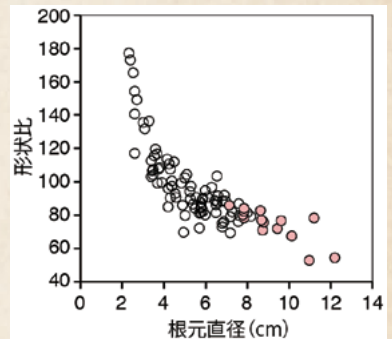


図2 根元直径と形状比の関係

さな木では形状比が100を大きく超えています。このような状態でハイトを外せば多くの木が強風や積雪で倒れる恐れがあります。

であれば、ハイトを外しても大丈夫な大きさになるまで待てばよいのですが、多雪地用のハイトを使った場合には、そこまで待てません。多雪地用は支柱2本でハイト本体を挟んで設置する構造となっており、支柱と支柱の間隔は10cm程度しかありません（図3）。このため、支柱の撤去が遅れると、木は支柱を巻き込んで成長していきます。植栽木の多くがシェルターを取り外せるまで待っていると、生育の良い木は支柱を巻き込んでしまします。このような理由から、一度にまとめてハイトを取り外すのではなく、十分成長した

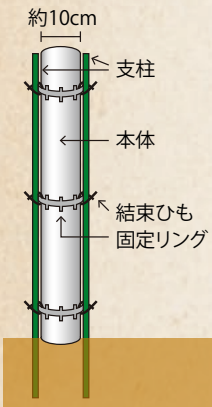


図3 シェルターの構造

木から順にハイトの取り外しを行う必要があります。そこで、今年の春、幹と支柱に隙間がなく、このままでは支柱を巻き込む恐れがある植栽木について、支柱を撤去しました（図2に赤丸で図示）。これらの形状比はおおむね80以下で倒伏の恐れは低いと考えていますが、継続して調査していく必要があります。

冒頭の質問「いつ（ハイト）シェルターを外せばいいのか?」の答えとしては、植栽後〇年後に外すのではなく、根元径が8cm位（根元径では測定が面倒なので、今後はハイトの高さの直径に読み替えるようにします）を目安として、十分に大きくなった木からシェルターを外すのが良い、となります。

やさしい

ハイトを外す際、まずは支柱と固定リングを外し、ハイト本体はしばらくの間、そのまま残しておきましょう。シカの密度が高い場所では、ハイト本体も外してしまうと、樹皮を食害される事例が見られるためです。施業する側からは本体を外す手間が増えることになりませんが、剥皮害を防ぐためには是非おすすめします。

今回はハイトについて紹介しましたが、他のシェルターでも取り外す時期に差こそあれ、同様の考え方で、十分に大きくなった木から順に外すのがよいと考えています。

● 詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-631-2585

森林研究所まで



中濃地域のスマート林業への取り組みについて



■中濃農林事務所林業課 土屋 幸弘

近年、ICT(情報通信技術)などの新技術の開発が著しく進展していますが、森林・林業分野においても、新技術を積極的に活用し、森林管理や林業の効率化等を図ることが期待されています。本県でも、令和2年度から補助事業の創設等により「スマート林業」への取り組みを支援しています。

今回は、中濃管内における取組状況を紹介させていただきます。

OWL(地上レーザ計測システム)
OWLは、令和2年度に中濃森林組合が導入しました。実際に約1haの林分でOWLと毎木調査の比較をしたところ、左記のような結果となりました。



図1 OWLと毎木調査の比較

表1 毎木調査との比較

	OWL	毎木調査
現地計測時間	約半日	約2日
必要最小人数	1人	2人
本数	800本	779本

OWLが、対象外の樹種もカウントすることや、胸高直径においては扁平を考慮しないこと等により若干、材積が多めになる傾向はありますが、それでも、測量に係る労務の大幅な軽減は、大きなメリットです。

その他にも、現地に行かなくても森林所有者に林内の状況を見せることができることは、施業の集約化等に大いに役立つと考えられます。

管内では、中濃森林組合の他に木曾三川水源造成公社も令和3年度に導入しています。中濃農林事務所では、今年2月に飛騨市森林組合の上崎課長を講師に迎えた研修会を開催するなど一層の活用を支援しているところです。

GNSS測量機器
GNSSは、アメリカのGPSの他、日本やロシア、EU等他の衛星も利用した測位システムです。近年、日本の衛星「みちびき」からの情報等により高精度な測位ができるようになっていきます。(ここでのGNSS測量は、DGNSSやRTK-GNSS等相對測位のものを含みます)

当管内では、まず初めに令和2年度に中濃森林組合が導入しました。令和3年度からの森林整備事業補助金申請に活用するため、6月に森林組合及び農林事務所職員を対象に研修会を開催したところ、現場での測量作業や内業も含めて、大幅に労務の軽減が図られ、また、精度も十分に基準を満たすことがわかりました。

特に、送電線等の影響を受けにくいことや測点間の視通が不要など森林組合内では大変好評です。これまでに延べ3台のGNSS測量機器を導入するに至っています。



研修の様子

その他にも(有)フォレスト板取も今年度から導入しています。

すし、NPO法人柚の杜学舎も自力で導入するなど、管内において急速に普及が進んでいます。その結果、当管内では森林整備補助事業の申請面積のうちGNSS測量によるものが、昨年度の約4割から今年度は8割を超えるまで増加する見込みとなっています。

ドローン(オルソ生成ソフト含む)
ドローンは、中濃森林組合が令和2年度に導入しました。新植地等において、撮影した写真により作成したオルソ画像を用いて補助金申請ができるようになりました。

これまでのところ、オルソ画像による申請はありませんが、今後、大面積の新植地があれば申請があるのではないかと考えます。なお、その他の利用については、現時点では対象ではありませんが、幼齢木保護材ごと倒れた苗木の雪起こしについては、実施の前後の写真により実施状況が確認できることから現地検査の省略ができるのではないかと考えています。



赤い四角は、10m×10m
赤丸が倒れているもの、
青丸は立っているもの(斜立含む)
被害率は、10本/21本=47.6%

木材検取システム
(有)フォレスト板取では、今年度、木材検取システムを導入しました。



これは、写真から、積まれた丸太の径級をAIが認識し、径級ごとの本数や材積を算出するものです。木口を揃える等の必要がありませんが、大まかな材積等、現場での状況把握に活用が期待されます。

今後、こうしたAI画像認識結果での売買ができれば、山側にとって材積の管理等の省力化が図られるとともに、その情報を買手に送信することで買手側も納入量を迅速に把握できることから双方にとってメリットは大きいと考えます。

mapry

今年度、岐阜県森林公社が、「mapry」を導入する予定です。

「mapry」は、iPhoneのLiDERを使って森林の三次元データを取得、解析等により、精度の高い森林資源量の把握を効果的に行うことができると期待されています。

おわりに

このように当管内では令和2年度以降、補助事業の活用等によりスマート林業への取組みが進んでいます。

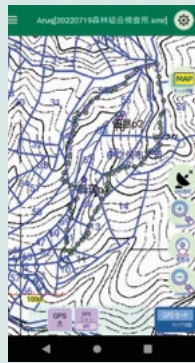
また、本県でも今年2月にGNSS測量機器が各農林事務所へ配備されたところです。

配備された当初は、背景図等はありませんでしたが、その後、森林基本図、C

S立体図、森林路網図、森林計画図(林班界等)がインストールされて、現場での使い勝手が向上しました。

表2 スマート林業に係る補助事業と活用実績 (見込み含む)

導入年度	事業体名	導入機器	補助事業名
R2	中濃森林組合	OWL、GNSS、ドローン	林業デジタル化推進事業
R3	木曾三川水源造成公社	OWL	林業事業体ICT技術等導入支援事業
R4	中濃森林組合	GNSS、繊維ロープ	スマート林業展開事業 (R3線)
R4	フォレスト板取	GNSS、木材検収アプリ	スマート林業展開事業 (R3線)
R4	岐阜県森林公社	mapry (森林計測システム)	林業事業体ICT技術等導入支援事業
R4	中濃森林組合	GNSS	林業事業体ICT技術等導入支援事業



端末の画面

森林基本図に林小班界(青線)、それに測量図(○は測点、測線は桃線)を表示したもの

今後、森林整備事業の補助金申請や森林経営計画の作成、伐採届等は現在、県が整備を進めている森林クラウドで行われるようになります。

この森林クラウドを、近い将来、ICTを活用したスマート林業のプラットフォームとして林業事業体、行政そして一般県民の方々が広く利用していくことを期待しています。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL0575-3314011

中濃農林事務所林業課まで

スマート林業通信 28

ドローン測量をマスターする研修会

令和2年度と3年度は林野庁から委託を受けた企業(ブルーイノベーション株式会社)が主催する林業現場に特化したリモートセンシング研修を、令和2年度は1回、令和3年度は3回岐阜県に誘致しました。今年度も引き続き誘致を働きかけてきましたが、林野庁の予算が半減したこと、かつ過去に開催実績のある県には行けない(特に岐阜県は異例の4回開催している)ことから、誘致は難しいとの結論に至りました。それならば岐阜県独自の予算で、実績あるブルーイノベーション株式会社へ委託して研修会を企画しました。県独自の予算でドローン研修会を開催するのは富山県に次いで2番目だそうです。

ドローンの基本操作はできることを前提とした研修会で、ドローンで周囲測量ができるように自動飛行計画の作成、作成した飛行計画による写真撮影、オルソ画像の作成、QGISへの貼り付け、面積算出、シェアプファイルの作成、航空法の説明など、特に近年の変更点を中心に説明してもらい、意見交換を行いました。

反省点として業務委託の契約手続に時間を要し、開催案内の通知が遅くなったために参加者が少なかつたこと(10名募集→7名申込)。しかしながら、専門講師が3名来県され、時間もサービスで17時まで2時間延長してもらい、受講者1人1人の様子を確認しながら研修を進め、質問にも丁寧に回答してもらい、内容の良い良い研修会になりました。皆伐地や再造林地であればGNSS測量より、ドローンを活用した測量の方が省力化を図れます。今後モ研修会を企画し、スマート林業を実践する技術者を育成したいと考えています。



●詳しい内容を知りたい方は

TEL0575-3512535

森林文化アカデミー

スマート林業推進係まで

中部の森林林業従事者 写真コンテスト

普段は人目に触れない林業の現場で、季節や天候で日々変化する自然を相手に安全第一で頑張っている林業従事者の姿を広く知っていただくため、中部森林管理局では、岐阜県、富山県、長野県、愛知県の森林で林業に従事する方とそれに関係する現場管理や調査等に従事する方を対象とした「中部の森林 林業従事者写真コンテスト」を開催しています。

応募作品のテーマは「令和の林業に携わる姿と風景」です。

令和以降に撮影された伐採や集造材、運搬、造林、安全作業、新技術、休憩時間、通勤、監督、調査など、山で働くあらゆる場面を切り取った一コマ、単独の作業だけでなく、全体の作業風景も対象です。

応募用のQRコードを読み込めばスマホからでも簡単に応募できますので、森の中で撮れた、自分や同僚・仲間のグッドな写真を送ってください。

なお、撮影も安全第一でお願いします。

Good Wood Workers

令和の林業に携わる姿と風景

写真募集 技人笑顔

森で撮れた、自分や同僚・仲間の Good な写真を送ってください。

令和4年12月23日

写真はデジカメ・スマホ・ドローンなどなんでも

応募は簡単!

撮影は安全第一で QRコードから

主催：中部森林管理局

共催：長野国有林森林整備協会、名古屋造林素材生産事業協会、富山県森林組合連合会、長野県森林組合連合会、岐阜県森林組合連合会、愛知県森林組合連合会

後援：富山県、長野県、岐阜県、愛知県

PRポスター Ver.04.7.1 応募要領はこちら

応募対象者：林業従事者
撮影箇所：富山県、長野県、岐阜県、愛知県の森林内
応募点数：1人5点以内
締め切り：令和4年12月23日（金）

◆入選作品について

- ・発表：中部森林管理局HPに掲載します。
- ・賞：最優秀賞1点、優秀賞4点、入選10点

◆応募写真について

- ・令和以降に撮影された未発表作品であること。
- ・応募作品の使用権は主催者（中部森林管理局）に属します。また、作品は展示用にプリントするなどして使用します。

◆表彰式

令和5年2月には入選のお知らせと、表彰式出席の可否を確認させていただきます。

※肖像権に関わる問題が生じた場合は、応募者の責任とします。

撮影は安全第一で



応募はこちらのQRコードから!



主催

林野庁中部森林管理局

共催

長野国有林森林整備協会
名古屋造林素材生産事業協会
富山県森林組合連合会
長野県森林組合連合会
岐阜県森林組合連合会
愛知県森林組合連合会

後援

富山県 長野県
岐阜県 愛知県

開催日	行事名等	内容等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	場所
			申込(問合せ)先/TEL
10月6日(木)~ 10月7日(金)	機械集材装置 運転業務特別教育	●講習時間: 6日 学科 8:50~16:10 : 7日 実技 8:30~17:40 ●申 込: 開催日の10日前まで ●受講料: 17,500円(本代含む)(振込み) ●定 員: 30名(定員になり次第締め切ります。)	6日(学科) ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東 2-5-6) 7日(実技) 美濃市曾代地内(予定) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
10月20日(木)	刈払機取扱作業 安全衛生教育	●講習時間: 学科 9:00~15:20 実技 15:30~16:30 ●申 込: 開催日の10日前まで ●受講料: 11,550円(本代含む)(振込み) ●定 員: 30名(定員になり次第締め切ります。)	ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東 2-5-6) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
10月25日(火)~ 10月26日(水)	簡易架線集材等 機械の運転業務 特別教育	●講習時間 25日 学科 8:50~16:00 26日 実技 8:30~17:30 ●申 込: 開催日の20日前まで ●受講料: 57,200円(本代含む)(振込み) ●定 員: 30名(定員になり次第締め切ります。 学科及び実技一部免除者を含む。実技講習は 10名単位の開催となりますので実技受講者が 20名以上の場合は翌日になりますのでお問合 せ下さい。)	25日(学科) ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東 2-5-6) 26日(実技) 中濃地内山林(予定) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
11月8日(火)~ 11月11日(金)	フォークリフト 運転技能講習 受講資格 自動車普通運転 免許所持者	●講習時間 1日目 学科 8:50~17:05 学科試験 17:10~18:10 2~4日目 実技・試験 8:00~17:30 ●申 込: 開催日の20日前まで ●受講料: 32,450円(本代含む)(振込み) ●定 員: 20名(定員になり次第締め切ります。)	(学科) 伊自良中央公民館(山県市大門 912-1) (実技) ぎふ農協 旧伊自良共選場(山県市洞田 127-5) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
11月16日(水)~ 11月18日(金)	伐木等の業務 (チェーンソー)に係る 特別教育	●講習時間 16日 学科 8:50~17:10 17日 学・実 8:50~12:00 18日 実技 8:30~17:40 ●申 込: 開催日の10日前まで ●受講料: 23,870円(本代含む)(振込み) ●定 員: 30名(定員になり次第締め切ります。)	16日(学科) 17日(学・実) ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東 2-5-6) 18日(実技) 県森連岐阜林産物共販所(関市倉知字物見山) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
12月1日(木)	刈払機取扱作業 安全衛生教育	●講習時間: 学科 9:00~15:20 実技 15:30~16:30 ●申 込: 開催日の10日前まで ●受講料: 11,550円(本代含む)(振込み) ●定 員: 30名(定員になり次第締め切ります。)	ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東 2-5-6) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
12月7日(水)~ 12月9日(金)	伐木等の業務 (チェーンソー)に係る 特別教育	●講習時間 7日 学科 8:50~17:10 8日 学・実 8:50~12:00 9日 実技 8:30~17:40 ●申 込: 開催日の10日前まで ●受講料: 23,870円(本代含む)(振込み) ●定 員: 30名(定員になり次第締め切ります。)	7日(学科) 8日(学・実) ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東 2-5-6) 9日(実技) 県森連岐阜林産物共販所(関市倉知字物見山) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
12月14日(水)~ 12月15日(木)	木材加工用 機械作業主任者 技能講習	●講習時間: 14日~15日 8:30~17:40 ●申 込: 開催日の10日前まで ●受講料: 17,600円(本代含む)(振込み) ●定 員: 30名(定員になり次第締め切ります。)	ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東 2-5-6) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195



コラム

「家が欲しい!」そう思い始めてかれこれ1年半、ようやく気に入る土地を見つけたマイホーム計画にむけて日々情報収集をしています。

はじめは何から始めるべきかわかりませんでしたが、考えるより先に住宅展示場や内覧会へ足を運びました。工務店さんの理念・特色・強みなどを教えてもらう中で、自分たち家族の思いに添った工務店さんに会うことができました。山に還元したいという営業の方もいて、とても感心しました。

最近では、どんな間取りがいいかな、素敵な内装だな、この木目おしゃれだなと夜な夜な調べるのが楽しいです。オススメは、MOKUTOWNというデジタル展示場です。

家づくりが完成するまでに携わる多業種のものづくりのストーリーを体感でき、オンラインでありながらも「生産者の顔の見える」住宅展示場となっています。自宅に居ながら夢のマイホームに思いを巡らすことができます。

4月から県産材流通課で業務をさせていただいているので、住宅・木材関係の情報をたくさん吸収して、県産材利用の一助にもなれるよう仕事もプライベートも楽しみながら生活していきたいです。

「森林のたより」編集委員 田口 正英

COLUMN

イベント情報

11月1日発行

連載

- 山の歳時記(207)
- 山のおじゃまむし(376)

地域の人

清流と森と親しむ

- 森林と人を活かす知恵(118)

木と親しむ

- 岐阜県の公共木造建築(116)

清流の国ぎふ森林・環境税

森林・林業技術

- 研究・普及コーナー

市況情報

その他

11月号
予定

木材市場

木材市況 県森連 岐阜・飛騨・東濃林産物共販所
単位:円(1㎡当たり)

回数 共販所名	樹種	長さ	径	平均値	高値	備考	
第1800回 岐阜共販所	すぎ	3 m	16~18cm	17,200	—	単価は直材 価格、但し 平均値は並 材二番玉価 格	
		4 m	16~18cm	15,700	—		
			20~22cm	16,500	—		
			24~28cm	16,800	—		
		30cm以上	15,600	21,700			
	6 m	16~18cm	—	—			
	9月13日	ひのき	3 m	16~18cm	23,900		—
			20cm以上	22,000	—		
		4 m	16~22cm	23,200	—		
			24~28cm	19,900	—		
30cm以上			19,700	43,800			
6 m		16~18cm	—	—			
第1386回 飛騨共販所	すぎ	3 m	16~22cm	17,000	—		
		4 m	24~28cm	16,000	—		
			30cm以上	15,000	19,000		
	ひのき	3 m	16~18cm	24,000	—		
		4 m	20~22cm	22,400	—		
			24~28cm	19,900	—		
			30cm以上	20,000	120,000		
		6 m	16~20cm	30,000	—		
	9月7日	ひめこ	4 m	24~28cm	11,000	—	
			30cm以上	11,000	14,300		
5 m		30cm以上	—	—			
くり	4 m	24cm以上	15,000	—			
第1718回 東濃共販所	すぎ	3 m	16~22cm	17,200	—		
		4 m	24~28cm	16,500	—		
			30cm以上元	14,500	25,000		
	ひのき	3 m	16~22cm	21,000	—		
			24~28cm	19,000	—		
			30cm以上元	25,000	—		
		4 m	13cm以下	10,000	—		
			24~28cm	19,000	—		
			30cm以上元	24,000	32,000		
	9月8日	まつ	4 m	22~28cm梁	—	—	
30cm以上元			11,000	—			

【商況】

ヒノキは全体的に需要が緩み価格は弱含み。スギは全体的に安定した需要により価格は保合。スギ4m元木中目、尺上良材は、天候等による材質低下・伐採から時間の経過した材は売りづらい。製紙向けパルプ材、発電向け未利用材ともに原木不足感が強く需要高。他の高値 クリ元木2m×54cm@45,000円。(岐阜)

ヒノキ、スギは前回市とほぼ横ばいとなっている。合板向け原木やスギ大径木は、相変わらず停滞しているものの、出品少なく引き合い強い。広葉樹はトチ、セン良材に人気が集まり応札旺盛。他の高値 ヒノキ4m×42cm@120,000円トチ2m×66cm@130,000円トチ4m×68cm@123,000円セン3.6m×46cm@70,000円(飛騨)

ヒノキ元木4m尺上は応札多数強保合。3m構造材、柱は引合いは多いが当用買いの姿勢が続いており価格は弱気。4m構造材は、需要先在庫が潤沢で、虫害懸念も相まって価格は弱気。スギ4m元木良材は、活発な応札がみられるが元伐から時間の経った原木は売りづらい。4m中目尺上選木は、強含保合で応札多数。3m並材は、堅調な需要に支えられる保合。他の高値 ホオノキ元木4m×40cm@33,600(東濃)

「ぎふ優良材展」11月10日(木)東濃共販所、「広葉樹祭り」12月7日(水)飛騨共販所で記念市を開催いたします。

製品卸売標準価格 (8月期)

(単位:円)

樹種	用途	寸法(mm)			等級	m ³ 当り 価格	(本(枚)単価)	前月 比較
		長	巾	高				
スギ	柱	3000	105	105	1等	100,000	(3,308)	→
	間柱	3000	105	30	1等	100,000	(945)	→
ヒノキ	土台	4000	105	105	上1等	120,000	(5,292)	→
	柱	3000	120	120	特等	110,000	(4,752)	→
6000		120	120	上1等	170,000	(14,688)	→	
W集 ウッ 成材	柱	3000	105	105	国産5層	155,000	(5,100)	↘
		3000	120	120	国産5層	139,000	(6,000)	↘

※日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場 全てKD材)

外材市況 (8月期)

1㎡当り(価格単価:100円)

樹種	規格	価格	樹種	規格	価格
米松	SSタイプ	522	米梅	へム(アラスカ産)	468
	コースト(目荒)	522	米ひば	ポール	—

日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場(径級は30cm上、米松コーストのみ大阪相場))

これってなあに? ~ 木材用語 ~

外皮平均熱貫流率 (U_A)

住宅における室内と外気の熱の出入りのしやすさの指標。建物内外温度差を1としたときに、建物内部から外界へ逃げる単位時間当たりの熱量を、外皮面積で除したものの。値が小さいほど熱が入りしにくく、断熱性能が高い。岐阜県の場合、省エネ基準に適合した戸建て住宅は、U_A値0.56~0.87(地域区分:3~6)である。

(参考)日刊木材新聞社、国土交通省HP